

埼玉県防災航空センターにおける 訓練時安全管理要綱

平成 18年 1月30日

防災航空センター所長 決裁

平成 19年 4月30日

防災航空センター所長 決裁

平成 25年 4月30日

防災航空センター所長 決裁

(一部改正)

令和元年 5月1日

防災航空センター所長 決裁

(一部改正)

令和3年 3月31日

防災航空センター所長 決裁

(一部改正)

(目的)

第1条 この要綱は、埼玉県防災航空センター安全管理規程第4条の規定に基づき、防災航空センターにおける各種訓練に起因する事故及び疾病（以下「事故等」という。）の防止並びに被害の軽減を図ることを目的とする。

(訓練計画の策定)

第2条 安全主任者は各クルーの災害対応能力、自隊訓練習熟度の斉一を図り、訓練を効果的かつ安全に実施するため、訓練目的、訓練内容、安全留意事項、達成目標等を定めた自隊訓練指針書（様式第5号）を策定し、防災航空センター所長の承認を得るものとする。訓練指導者の各副隊長（以下「副隊長」という。）は、計画を実施する場合、訓練を効果的かつ安全に実施するため、次の各号に掲げる事項に留意し訓練実施計画書（様式第1号）を策定し、防災航空センター所長の承認を得るものとする。また、実施された訓練については訓練結果報告書（様式第2号）により報告を行う。

- (1) 訓練内容の選定にあたっては、航空隊員及び事前研修者等（以下「隊員等」という。）の技術水準及び練度をよく把握し、これらに応じた訓練種目を選定すること。
- (2) 訓練場所、訓練施設、訓練資器材の選定にあたっては、事前に調査点検し、危険防止の万全を期さなければならない。
- (3) 訓練に必要な安全員並びに資器材については、訓練種目、内容に応じて十分に安

全の確保ができる配置を行うものとする。

- (4) 自隊訓練については自隊訓練指針書（様式第5号）に沿って訓練実施計画書（様式第1号）を作成すること。

（点検表の作成）

第3条 安全主任者は、訓練を安全かつ円滑に実施するため、訓練施設等を常に良好な状態に維持するよう、屋内訓練施設点検表（様式第3号）及び資機材（月・半年）点検表（様式第4号）に従い点検を実施するものとする。

（一般的安全管理実施の措置事項）

第4条 訓練前においては、次の各号に掲げる安全確認を必ず実施し、必要な措置を講じるものとする。

- (1) 隊員等の服装等を点検し、顔色及び挙動を観察する等健康状態を的確に把握し、訓練の実施に支障があると判断した場合には、必要な指示又は見学等の措置を講じること。
- (2) 準備体操等を十分に実施すること。
- (3) 訓練種目に応じて隊員等の安全に対する意識を高めるとともに、ブリーフィングにおいて目的及び訓練内容を周知させること。
- (4) 訓練で予想される危険及びこれに対する措置について、隊員等に対し必要な事故防止のための事前教育を行うこと。
- (5) 雨天、強風時、冬期寒冷時、夜間等の訓練にあたっては、安全確保について十分な配慮を講じると共に、状況により訓練の延期若しくは中止を速やかに決定すること。
- (6) 訓練施設等の員数、機能等を綿密に点検し、不備を認めたときは直ちに必要な措置を講じること。
- (7) 訓練資器材は、使用目的以外の使用方法はしないこと。
- (8) 訓練内容等を考慮し、必要に応じて応急措置体制を整えておく。

2 訓練中において、隊員等の安全確保のために次の各号に掲げるとおり必要な措置を行うものとする。

- (1) 訓練は、副隊長によって実施するものとし、操作及び動作の安全を確認し指導すること。なお、公務災害の発生等緊迫した危険がある場合は、訓練を速やかに停止又は中止すること。
- (2) 訓練の内容に応じて適宜休憩を設けるとともに、隊員等の顔の表情、顔色及び動作をよく観察して疲労の度合等を把握し、必要に応じて適切な措置をとること。
- (3) 訓練中に隊員等が危険と認められる操作及び動作を行ったときは、直ちに是正又は中止させること。

3 訓練終了後は、必ず人員及び訓練施設等の異常の有無について点検し確認するとともに、使用後の整備を励行すること。

また、デブリーフィングにより、実施された訓練の内容等について安全と危険予測の再確認を行い、以降の訓練に生かすとともに、訓練結果報告書（様式第2号）により内容を記録するものとする。

（隊員等の責務）

第5条 隊員等は、厳正な規律を確保し消防防災活動の技術の習得に励むとともに、次の各号に掲げる基本的な事項を順守し、訓練時の事故防止に努めなければならない。

- (1) 隊員等は、訓練にあたり服装を点検しこれを整えるとともに、個人装備及び使用資器材の点検を自己の責任において入念に行うこと。
- (2) 隊員等は、自己の健康状態が思わしくなく訓練の実施に支障があると感じたときはこの旨を申し出ること。
- (3) 隊員等は、訓練施設等又は訓練内容に対する事故防止のための事前に行われる教育をよく理解しておくこと。
- (4) 訓練中は、副隊長及び安全員の指示に従い、安全行動を最優先として、迅速かつ確実な行動をすること。
- (5) 隊員等は、訓練の各操作及び動作に際し、確認の呼唱を確実にすること。
- (6) 隊員等は、使用資器材に落下及び転倒等の衝撃を与えないように注意するとともに許容能力以上の荷重をかけないなど、資器材の適正な使用に配慮すること。
- (7) 訓練終了後は、使用した訓練施設等の点検、整備を励行すること。

（訓練及び施設等の管理）

第6条 訓練施設等は、使用中の安全を保持するため次の事項について点検し、必要な措置を行うものとする。なお、附属設備は実施する訓練の種目に応じて、使用の前後に必要な点検を十分に行うこと。

1 屋内訓練場（格納庫内）

- (1) 訓練場内の施設、設備及び器具は安全を確認し、使用目的以外の使用方法はしないこと。
- (2) 床面は、清潔ですべらないようにしておくこと。
- (3) 室内の照明、通風及び換気に注意すること。

2 屋外訓練場

- (1) 屋外訓練場内において危険を及ぼす物（石、ガラス、廃材等）を事前に確認したならば、速やかに排除すること。
- (2) 訓練場内に人や動物等が存在し、二次的な危険を生じるおそれが予測される場合は、事前に訓練場内から安全な場所への移動指示等適正な措置を講じること。
- (3) 訓練場内において訓練を実施する場合は、訓練指定場所へ人及び車両等の出入りを制限する看板等を必要に応じて設置すること。

3 格納庫（車庫及び資器材庫）

- (1) 車両は、指定された場所に駐車すること。
- (2) 使用した資器材は、必ず定められた場所に整理して保管すること。
- (3) ロープ及びその他の資器材においても、水又は油等で濡れた場合は、必要な措置を行うこと。
- (4) 床は、油類、土砂が付着しないように清掃、整理に努めること。
- (5) シャッターの開閉時は、ガイドレールに配慮すること。

4 車 両

- (1) 車両の鍵は、常に所定の場所に保管すること。
- (2) 車両の運転又は取り扱いは、指定された隊員が行うこと。
- (3) 車両の出し入れは、運転手のほかに必ず誘導員を定め、誘導員の指示に従うこと。
- (4) 誘導員は、運転手の視界中で警笛又は肉声を用いて行うこと。
- (5) 車両運行に異常と認められる個所を発見した場合は、速やかに担当課長に報告して指示を得ること。
- (6) その他点検、清掃に努め、常に安全運行に心がけること。

5 水難救助訓練（プール及び河川等）

- (1) 水質の点検等、衛生管理に配慮すること。
- (2) 屋外においては、気温及び水温を考慮し隊員の装備等適切に対応すること。
- (3) 必要な救命具を完備しておくこと。
- (4) 訓練実施後は、消毒、洗浄、シャワー等により隊員及び資機材の感染防止と衛生管理に万全を期すこと。

附 則

- 1 この要綱は、平成18年2月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成19年5月1日から施行する。
- 3 この要綱は、平成25年5月1日から施行する。
- 4 この要綱は、令和元年5月1日から施行する。
- 5 この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別 紙

所長	運航安全管理者	担当課長	隊長	隊長補佐	隊長補佐

運航種別	
------	--

自隊訓練結果報告書

訓練内容

作成者

印

訓練担当者

印

実施日	令和 年 月 日	T/O :	実施場所			
気象	天候	風速 m	風向	視程 m	気温	℃
機体 操縦士				整備士		
				基地通信		
実施者						
時間・回数	飛行 分 回			飛行 分 回		

訓練担当者

印

実施日	令和 年 月 日	T/O :	実施場所			
気象	天候	風速 m	風向	視程 m	気温	℃
機体 操縦士				整備士		
				基地通信		
実施者						
時間・回数	飛行 分 回			飛行 分 回		

訓練担当者

印

実施日	令和 年 月 日	T/O :	実施場所			
気象	天候	風速 m	風向	視程 m	気温	℃
機体 操縦士				整備士		
				基地通信		
実施者						
時間・回数	飛行 分 回			飛行 分 回		

訓練担当者

印

実施日	令和 年 月 日	T/O :	実施場所			
気象	天候	風速 m	風向	視程 m	気温	℃
機体 操縦士				整備士		
				基地通信		
実施者						
時間・回数	飛行 分 回			飛行 分 回		

訓練担当者

印

実施日	令和 年 月 日	T/O :	実施場所			
気象	天候	風速 m	風向	視程 m	気温	℃
機体 操縦士				整備士		
				基地通信		
実施者						
時間・回数	飛行 分 回			飛行 分 回		

別紙